

## よかったね、喜

三年 長塚由興

夏休みにぼくの家に犬が来ました。名前はハルです。ぼくが考えました。喜ぶと書いてハルとよみます。ハルは、八か月のメスのシユナウザーです。おとなしくて、ほえませんが、ハルはほご犬です。前のかい主が、かう事ができなくて、ほけんじよと言う犬をしよ分するところにいました。それをGO!ほご犬GO!と言う人がたすけてくれました。GO!ほご犬GO!は、すてられた犬や、びよう気の犬をたすけてくれて、新しいかい主をさがしてくれる人です。ハルは、きよ大食道しようと言うびよう気をもっています。きよ大食道しようは、食べた物が食道につまって、はいてしまうびよう気です。だから前のかい主は、ほけんじよにつれて行つたんだと思いました。ぼくの家でびよう気のハルをかう事にきめたのは、ぼくのお母さんがむかし、動物びよういんのかんごしだったので、犬の事や、犬のびよう気にくわしかったからハルをかいました。ハルがぼくの家に来る前に、家ぞくで何回も話し合いました。お母さんが、

「もし、食べ物がつまって死んじゃっても、このお家に来てしあわせだったと、思ってもらえる様に大切にかけてあげようね。」

と言いました。ぼくはちょっとかなしくて、ないちゃいました。だけど、早く会いたいと思いました。

ハルは八月十三日にぼくの家に来ました。GO!の人がぼくに、

「この子がおばあちゃんになっても一生めんどう見れますか?」

と言いました。ぼくは

「はい!」

と言いました。そして、食道につまらないごはんのあげ方を教えてくれました。立ったままごはんが食べられるテーブルに入れて、スプーンでごはんをあげました。ぼくは大へんだなと思いました。だけど、スプーンで何回もあげるのが、おもしろそうだったので一回あげてみました。そしたらキツキミたいに食べました。そのあと十五分、食べ物が流れるまでそのままテーブルに入れておきました。十五分たつたら、出してあげると、ふつうの犬と同じ様にすごしていました。ハルはぼくの家に来てから一回もはいていません。ハルは元気いっぱいです。ぼくはハルをかって毎日しわせます。だからハルには長生きしてほしいです。そして、ほけんじよや、GO!ほご犬GO!にいるワンちゃんたちに新しいかい主が見つかると思います。